第4学年 算数科指導案

日時：6月19日（水）第5校時

場所：

授業者：

1. 本時の目標

何倍かを求める問題を解決する活動を通して、テープと数直線の図を用いて「関係を表す式」（1あたり量×何倍×全体の量）を立て、何倍かを求めることができる。また、もとにする量を1とみたときのある量にあたる数であるということを理解できる。【数学的な考え方】

2. 本時の展開（9／11）

過程	児童の学習活動	指導・援助
つ か む (十分)	<p>◎ 乗法を用いて「ある数量の何倍を求めたこと」をふり返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つ分, 3つ分のことを2倍, 3倍というんだっとな。 ・ 3年生の学習で, 2 cmの□倍は12 cmから, $2 \times \square = 12$ という式を立てたな。この式が, 関係を表す式なんだね。 <p>◎ 本時の問題を把握する</p> <p>【問題】 青いテープが24 m, 赤いテープが8 mあります。 青いテープの長さは, 赤いテープの長さの何倍でしょう。</p> <p>◎ わかっていることと求めることを確認し, 「関係を表す式」を立てて解決できそうか考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何倍かの問題だから, 3年生の時のように関係を表す式が立てられそう。 ・ 図を使って, 関係を表す式を立ててみよう。 <p>◎ 本時の課題を理解する</p> <p>テープと数直線の図から関係を表す式を立てて, 何倍になるか求めよう。</p>	<p>・ 既習内容である, 「①何倍とはいくつ分であること」と「②関係を表す式で何倍を求めたこと」の2つを確認する。</p> <p>○実態を見届ける</p> <p>◇既習の内容の定着を見届ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何倍の大きさは, 乗法で求められることを理解している。(ノート・発言)
か ん が え る ふ か め る (二十分)	<p>◎ テープと数直線図を使って立式し, 何倍かを求める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 mの□倍が24 mだから <p>関係を表す式は, $8 \times \square = 24$</p> <p>□を求める式は, $24 \div 8 = 3$ <u>3倍</u></p> <p>◎ 考えを交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係を表す式をたてるためには, テープと数直線の図があるとわかりやすいね。 ・ 何が何の何倍なのかとともわかりやすいよ。 <p>◎ 1つ分 = 1倍 = 1とみる大きさ であることを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 mを1とみると, 24 mは3にあたるんだね。 ・ 1とみる大きさ×何倍=比べる大きさの式になるのかな。 <p>◎ 学んだことをまとめる</p> <p>何倍かを求めるときには, わり算を使う。3倍といのは, 8 mを1とみたとき, 24 mが3にあたることを表している。</p> <p>◎ 評価問題（りんご）に取り組み, 自己の変容を実感する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24 mと8 mの長さを, 両手で表現させ, 量の比について見積もたせる。また, その感覚からテープ図をかくことにつなげさせる。 ・ 何倍かを求めるわり算は3学年で既習のため, わり算で求められると考えることは比較的平易である。本時は, 関係を表す式として考えることを課題意識としてもたせたい。 <p>○学習状況を見届ける</p> <p>◇ テープと数直線の図を根拠にして関係を表す式を立式できているか見届ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図から, 関係を表す式「$8 \times \square = 24$」を立てて, 何倍かを求めている。 ○ C: 関係を表す式を立てられない。 → 教科書を開かせ, テープと数直線の図を使って, 8 mと24 mと□倍の関係を整理させる。
た し か め る (十五分)	<p>・ 4を1とみます。 4の□倍が56だから, $4 \times \square = 56$</p> <p>□を求める式は, $56 \div 4 = 14$ <u>14倍</u></p> <p>◎ 練習問題（えんぴつ1）に取り組み, 学びを確かめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7を1とみます。 $7 \times \square = 35$ $35 \div 7 = 5$ <u>5倍</u> 	<p>【評価規準】 数学的な考え方</p> <p>テープと数直線の図を用いて, 一方の量何倍が他方の量とい関係を表す式を考えている。(ノート・発言)</p> <p>○定着状況を見届ける</p> <p>◇何倍かを求めるには除法を用いればよいことを理解しているか見届ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題場面をとらえて, テープと数直線の図に表し, 関係を表す式が書けている。(ノート) ・ 1とみる大きさがいくつなのかを理解している。(発言)